



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 扶桑薬品工業株式会社
コード番号 4538 URL <https://www.fuso-pharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 幹雄
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務本部長代行総務部長(兼)経理部長 (氏名) 古市 晴彦 (TEL) 06-6969-1131

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	46,659	8.9	3,633	97.2	3,341	82.7	2,402	95.8
2024年3月期第3四半期	42,830	9.2	1,843	△6.3	1,829	△11.2	1,227	△17.8
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期第3四半期	281.26		—					
2024年3月期第3四半期	141.92		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	80,706	38,713	48.0
2024年3月期	75,802	36,661	48.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 38,713百万円 2024年3月期 36,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2025年3月期	—	40.00	—		
2025年3月期(予想)				42.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.3	4,000	103.7	3,700	98.1	2,600	88.7	304.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期3Q	9,451,169株	2024年3月期	9,451,169株
2025年3月期3Q	909,496株	2024年3月期	906,453株
2025年3月期3Q	8,543,164株	2024年3月期3Q	8,646,874株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
3. その他	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化、資源・原材料価格の高騰、物価上昇、米国の政策動向、金融資本市場の変動等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

医薬品業界では、薬価制度改革をはじめとして後発医薬品の使用促進策の強化等、医療費適正化諸施策が引き続き推進されており、経営のさらなる強化が求められるなか、研究開発費の増加、開発リスクの増大等、収益環境の厳しさが増しております。

このような状況のもと、当社は、主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリー等、人工透析関連製商品及び輸液等のより強固な浸透を図るとともに、後発医薬品の販売促進にも注力してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、腎・透析関連の後発医薬品の販売促進及び輸液・注射剤の他社品代替供給による製造販売増加の影響等により、売上高は466億59百万円と前年同四半期と比べ38億29百万円(8.9%)の増加となりました。利益面につきましては、原材料費や物流関連諸費用等の高騰は続いているものの、増産及び特例的な不採算品再算定等の影響によって輸液全体の不採算が緩和され売上原価率が若干改善されたため、営業利益は36億33百万円と前年同四半期と比べ17億90百万円(97.2%)の増加、経常利益は33億41百万円と前年同四半期と比べ15億12百万円(82.7%)の増加、また、四半期純利益は24億2百万円と前年同四半期と比べ11億75百万円(95.8%)の増加となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末の総資産は、商品及び製品や建物及び構築物(純額)の減少等があったものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加等により前事業年度末から49億4百万円(6.5%)増加し、807億6百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金や電子記録債務、長期借入金の減少等があったものの、短期借入金の増加等により前事業年度末から28億52百万円(7.3%)増加し、419億93百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により前事業年度末から20億51百万円(5.6%)増加し、387億13百万円となり、自己資本比率は48.0%となりました。

なお、2024年5月13日付で、今後の当社の事業拡大に伴い運転資金の増加が見込まれることから、より強固な財務基盤を構築するとともに金融費用の圧縮を行うことを目的として、株式会社三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケートローン契約を締結いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、現時点では2024年11月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,120	7,173
受取手形及び売掛金	24,328	28,583
商品及び製品	11,813	11,155
仕掛品	49	46
原材料及び貯蔵品	2,340	2,287
その他	1,295	702
流動資産合計	44,947	49,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,255	9,815
土地	8,818	8,818
その他(純額)	5,353	4,882
有形固定資産合計	24,427	23,516
無形固定資産	600	1,409
投資その他の資産	5,826	5,831
固定資産合計	30,854	30,757
資産合計	75,802	80,706
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,353	4,313
電子記録債務	9,074	6,602
短期借入金	5,701	18,513
未払法人税等	270	579
賞与引当金	922	475
その他の引当金	20	-
その他	6,308	6,597
流動負債合計	29,650	37,082
固定負債		
長期借入金	7,021	2,722
退職給付引当金	736	440
その他の引当金	153	160
その他	1,577	1,587
固定負債合計	9,489	4,910
負債合計	39,140	41,993

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	14,951	14,951
利益剰余金	16,541	18,303
自己株式	△2,588	△2,591
株主資本合計	39,662	41,421
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,634	1,928
土地再評価差額金	△4,635	△4,635
評価・換算差額等合計	△3,000	△2,707
純資産合計	36,661	38,713
負債純資産合計	75,802	80,706

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	42,830	46,659
売上原価	32,122	34,008
売上総利益	10,708	12,650
販売費及び一般管理費	8,865	9,016
営業利益	1,843	3,633
営業外収益		
受取利息及び配当金	95	105
受取保険金	77	83
その他	52	29
営業外収益合計	225	219
営業外費用		
支払利息	127	111
支払手数料	-	302
生命保険料	75	72
その他	36	25
営業外費用合計	239	511
経常利益	1,829	3,341
特別利益		
投資有価証券売却益	39	-
特別利益合計	39	-
特別損失		
固定資産除却損	20	7
投資有価証券評価損	110	-
特別損失合計	130	7
税引前四半期純利益	1,738	3,334
法人税、住民税及び事業税	357	719
法人税等調整額	153	212
法人税等合計	510	931
四半期純利益	1,227	2,402

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社は、医薬品事業の他に不動産の賃貸を営んでおりますが、重要性が乏しいことからセグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,639百万円	1,752百万円

3. その他

2025年1月7日に公表いたしました「巣状分節性糸球体硬化症(FSGS)治療薬候補化合物に関するDimerix社とのライセンス契約締結について」に記載のとおり、当社は、Dimerix Limited(本社:豪メルボルン、CEO:ニーナ・ウェブスター、以下、「Dimerix社」といいます。)が創製した巣状分節性糸球体硬化症(focal segmental glomerulosclerosis:FSGS)の治療薬候補化合物(開発コード:DMX-200、以下、「本剤」といいます。)についてライセンス契約を締結いたしました。

本契約に基づき、当社は日本国内における一次性FSGSを対象とした本剤の独占的な開発権及び販売権を取得し、Dimerix社及びパートナー会社が現在実施している国際共同第3相臨床試験に参画いたします。本契約において、当社は契約一時金として3億円、本契約の締結から発売までの進展に応じた開発マイルストーンとして最大34億円、ならびに本剤の発売後には販売の進展に応じた販売マイルストーンと、売上高に対する一定率のロイヤリティをDimerix社に支払います。

なお、契約一時金は第4四半期に計上予定であり、本件による2025年3月期の業績予想の変更はありません。